



7月1日現在在籍数 284名

気仙沼市立松岩小学校

■ 本校の教育目標 ■

志を持ち、
かしこく、やさしく、たくましく
生きる児童の育成

令和6年度 学校だより NO. 4

令和6年7月1日（月）発行

笑顔あふれる修学旅行。子供たちと一緒に過ごして感じたこと。

気仙沼市立松岩小学校 校長 佐々木 裕作

引率したどの先生も、

「皆さんが笑顔で活動していて、うれしかったです。」

と、事あるごとに話していました。子供たちにとって、楽しい1泊2日の修学旅行となり、本当にうれしく思っています（子供たちを修学旅行に参加させていただき、本当にありがとうございました）。

先週の26日（水）、27日（木）と、6年生の子供たちと一緒に会津若松へ修学旅行に行ってきました。何よりも心配だったのは天候です。昨年度は、自主研修中に滝のような大雨が降り、子供たちは大変な思いをしました。天気予報では、崩れる心配はなさそうでしたが、高速道路を降りる頃、バスのフロントガラスが雨で濡れ始めました。「また雨か…」と思い、雨雲レーダーを確認したら一瞬の雨のようで、飯盛山に到着した時は、雨は降っていませんでした。バス酔いが心配された子もいましたが、全員元気でした。この後、天気が崩れることはなく（ほんの少しだけ雨が降りましたが）、無事に自主研修を終えることができました。

さて、修学旅行中、子供たちといろいろな話をしますし、子供たちのいろいろな声を聞きます。今回、私の心に残った言葉、ベスト3を紹介します。

1 道に迷ったおかげで、別の楽しいことがありました。

ある班が、自主研修中に道に迷いました。担任の先生にHelpの電話を入れ、なんとか自主研修を終えました。実はこの班、私と会った時にも反対方向に進んでおり、「鶴ヶ城遠くなるよ。」とアドバイスしていた班でした。そのグループの子に、「迷子になって大変だったね。」と声をかけた時、ある子に言われた言葉がこの言葉でした。（なんて前向きなんだろう）と心から感心しました。こういう気持ちの持ち方（整え方）、大切だなと思いました。

2 班長として、何かできなかつたかなと思いました。

夜の班長会議の時、各班の班長から自主研修の様子を振り返ってもらいました。「ここがよかった。ここが悪かった。明日はこうしたい。」という反省がほとんどですが、何人かの班長からこの言葉が出ました。自分の役割を理解し、その役割を果たそうと頑張ってきたことが伝わる言葉でした。私だったら友達を責めても、自分を振り返ることはしないだろうと、心から感心しました。その時に、私が話す時間があつたので、「そのように振り返るだけで、成長につながるし、もう成長しています。」と子供たちに伝えました。

3 脳というノートに記録しよう。

今回の修学旅行での大名言（迷言?）です。日新館到着前、持ち物の指示がありました。「リュックは持たない。しおりと筆記用具、飲料水を持つこと。」でした。日新館に到着し、子供たちは降車の準備を始めました。みんな言われたとおりの物を持っています。その子は、きっといろいろな物を持ちなくなかつたんだと思います。しおりを片手に、この言葉をつぶやいていました。私は、「うまいこと言うな」と思いながらも、おかしくて仕方ありませんでした。私が、その子に筆記用具を持つよう声を掛けることは、お察しのおり、しませんでした。きっと、脳というノートにしっかりと記録してきたはずですから…。

子供たちと一緒にいると、本当にいろいろなことに気付かされます。日々、子供たちは成長しています。その成長をしっかりと伝えてあげ、自分の成長を実感させることも我々大人の役目だと思っています。